

2022年10月15日発行

K



神奈川県理学療法士会

(公社)神奈川県理学療法士会ニュース

The Kanagawa
Physical Therapy Association
News

P

10 2022
October
No.293

http://www.pt-kanagawa.or.jp

A

Kanagawa Physical Therapy Association

○発行 | 神奈川県理学療法士会 ○代表 | 内田 賢一 ○編集 | 武田 正一

○発行所 | 〒220-0003 横浜市西区楠町4-12 アーリア20 101号 Tel.045-326-3225/Fax.045-326-3226 E-mail:jimukyoku@pt-kanagawa.or.jp

○会員数

5,999名

[2022.9.1現在]

Contents

P1▶巻頭言 P2▶活動報告/ライフサポート部報告78報 P3▶災害対策部活動報告
P4▶「第2回 会長と話をしよう」を振り返って/第43回定時総会 開催報告 P5▶生涯学習制度 P8▶研修会・講習会 P10▶学会案内
P11▶会長行動報告 P12▶information P13▶本会の政治活動について P14▶公益事業推進部活動報告 P16▶原稿送付先/編集後記

巻頭言



最高のアドを目指して

小田原市立病院スポーツ整形外科 大歳 晃生



新型コロナウイルスの猛威により、スポーツは一時プロ・アマ・学生問わず冬の時代を迎えた。しかし最近はWITHコロナ時代へと移行し、少しずつ活気を取り戻している。無観客だったスタジアムにも人が戻り、声援

を拍手や手拍子に変えて選手たちに届けている。また声出し応援の段階的導入の取り組みも始まっており、かつての熱量を取り戻す日も遠くないかもしれない。皆のスポーツへの衝動を感じる度に、やはりスポーツはウイルスなんかには負けないぞ！と声を大にして叫びたい気持ちになる。

スポーツ整形外科医を志してから様々な出会いに恵まれた。師匠や兄弟子に教わってきたことは、全身を診られるDrになること、そして常に『選手ファースト』であることである。スポーツ選手は怪我・故障の部位や時期を選べないし、その重症度も様々だ。しかしどんな場合も選手の願いはただ一つ、早期復帰である。

では選手を早期復帰させるために我々に必要なものはなんだろうか。それはDrやPTという『資格』ではなく、『知識・技術・経験』である。資格だけで選手が治ればこんな楽なことはないが、実際はそうはいかない。詰まる所はDrもPTも手に職をつけ、その知識と技術を以て選手の治療にあたらなければ最良の結

果は得られない。選手を早期復帰させるための知識や技術は、自らの努力で習得可能かもしれないが、一方で経験だけは自分の努力だけではどうにもできない場合がある。

近年PTがスポーツの現場に出る機会がめっきり少ないように思う。私は現在サッカーを中心に活動しているが、これまでにラグビー、アメフト、野球、バスケットボール、ソフトボール、体操とさまざまな現場にでる機会をいただいた。現場では選手・監督・コーチが何を求め、トレーナーが何に困っているか、生の声が聞こえてくる。病院には得られない経験である。また自分が治療にあたった選手が躍動する姿を見るのは、何にも変えがたい喜びとなる。現場において主役は選手であり、我々はあくまで脇役なのだ。病院内での様々な業務に追われる中でつい忘れがちな、『選手ファースト』の意味を現場にでると再認識できる。

先日子供と観た映画ワンピースの中で、「うっせえわ」が空前の大ヒットとなったAdoが劇中歌を熱唱しており、その表現力の高さに驚いた。狂言において主人公をシテ、脇役をアドという。Adoという名は「誰かの人生の脇役になれたら」という願いから来ているそうである。シテがどんなに良くても、アドが良くなければシテは生きない。スポーツ現場でのシテである選手に、早期復帰と最高のパフォーマンスをしてもらいたいと切に願う。そのために我々は日々の研鑽だけでなく、経験を求めて現場に出るべきではないだろうか、最高のアドを目指して。

活動報告

今年度最初の研修会&交流会を開催しました！

医療職だからこそ知っておきたい妊娠中の身体の変化

ライフサポート部 鴨志田 理子

ライフサポート部
活動報告 第78報
職場環境を考える

第78報

今年度もよしかた産婦人科理学療法士の山崎愛美先生を講師にお招きし、「医療職だからこそ知っておきたい妊娠中のからだの変化」をテーマに研修会&交流会を開催しました。

年齢層は20～40代、男女比は3：7、職域区分は病院（急性期・回復期）から教育・研究施設まで様々でした。参加動機は「ウィメンズヘルスに関する知識を学びたい」「職場での対応を知りたい」が多く、「自身がウィメンズヘルスに興味がある」「周囲に妊婦がいる」などの様々な動機から参加者が集まりました。

研修会の前半は、①妊娠とは、②妊娠による身体の変化、③妊娠中に現れる症状、④リスク管理についての講義が行われました。対面の研修会で実施していた風船を使った子宮の大きさの変化や妊婦姿勢の体験は出来ませんが、参加者の方々は画面越しでも自身の身体を動かし、妊娠による身体の変化を感じていました。



後半は3～4名のグループに分かれ、自分の妊娠出産経験や職場環境などの情報交換をフリートークで実施しました。「妊娠中・産休中の同僚がいるが、どのような配慮をしたらいいかわからない。」「妊娠中に少しでもいいから横になって休める場所が欲しかった。」「自分は業務を調整して、妊娠中も働きたいが、上司からはとにかく休暇を取得して！と言われてしまうのがもどかかった。」など、時間内では収まりきれないほどの悩みや貴重な経験談が挙げられました。

アンケートに答えていただいた多くの方から研修会の内容やグループディスカッションについて「非常に満足」「満足」と評価していただきました。前回の研修会の男女比は1：4でしたが、今年度は3：7と男性にもたくさん参加していただけました。妊娠出産は女性ばかりと思われがちですが、男性の協力も必要なライフイベントであり、本研修会に今後も男性にも参加していただきたいです。



研修会アンケート結果

Q. 妊産婦の働き方について困っていること・悩んでいることはありますか？

A. はい (72.7%)
「仕事調整が難しい。胎児への影響についての不安感がある。」「男性なのでサインを見抜きづらい。具体的にどのような行動が良くないのか知りたい。」「相談しやすい管理者が休みの日は我慢して働いていた。」

Q. あなたの職場では妊産婦さんの就労に関してなにか取り組みや配慮は行われていますか？

A. はい (72.7%)
「働きやすい妊婦者のマニュアルがある」「職務中に休憩が必要であれば、スタッフルームで休むことができる」「単位数や介助量の調整」「法律遵守の範囲内での対応はされている（それ以上の積極的な取り組みはなく、妊産婦自身が管理職に相談する必要があった）」

Q. 今回の研修会を通して、どのような取り組みを行っていきたいですか？

A. 「男性女性スタッフ関係なく、全職員に妊娠中のからだの変化を知ってもらう」「経験者として、今後妊娠出産経験を迎える職員がいたら、相談役になれるように配慮したい」「ウィメンズヘルス分野の卒前教育に生かしていきたい」

講師の山崎先生より、これは知っておいてほしい！というお話がありました

TOPIC 「妊娠授乳関連骨粗鬆症」知っていますか？

妊娠後期から授乳期に、突然の多発脊椎骨折によって発見されることが多い疾患です。妊娠期は経胎盤的に25～30g、授乳期は母乳によって1日280～400mgのカルシウムが母体から児へ供給され、母体の骨代謝が大きく変動します。低栄養・低体重と妊娠による骨代謝などの骨粗鬆症発症が疑われるリスク因子が重なることが原因と言われています。

普段の生活における栄養摂取に注意し、疼痛が出現している場合には医師の診察を受けましょう。

妊娠授乳と骨粗しょう症-plo-patient-associationページ！ (jimdofree.com)



ライフサポート部より

ライフサポート部のホームページに「妊娠しても安心できる職場宣言」として、基本的な心構えと環境整備についての提案・妊娠中の身体の変化・注意すべき症状・支援制度について掲載しております。妊産婦さんや周囲のスタッフの方、ぜひ参考にしてください。





災害対策部活動報告

令和4年度神奈川DWAT登録研修に参加しました。

事務局 災害対策部 山城 諒一郎

2022年7月29日（金）に、開催された令和4年度神奈川DWAT*登録研修に参加しました。神奈川DWATは、国が平成30年5月に策定した「災害時の福祉支援体制の整備に向けたガイドライン」に基づいて、令和2年度に設置された、一般避難所および福祉避難所において活動する神奈川県災害派遣福祉チームです。チーム員の所有している資格・就いている職種は理学療法士以外に、社会福祉士、介護福祉士、保育士、看護師、臨床心理士、生活相談員、介護職員などがあります。

今回の研修では、神奈川県 福祉子どもみらい局 福祉部 地域福祉課 岩下 記久氏、群馬県 社会福祉協議会 災害福祉支援センター センター長 鈴木 伸明氏の2名の講師により講義をしていただきました。

災害派遣福祉チームが求められた背景や神奈川県における取り組み、神奈川DWATの概要などの基本事項をはじめ、演習を含めた避難所におけるニーズの抽出から考察、実際の活動場面の写真を交えたDWATの活動について中心にお話ししていただきました。特に平成30年7月に発生した岡山県での豪雨災害や、令和元年に発生した長野県での台風19号災害の際の、支援活動の紹介では、派遣前後に必要な情報や把握しておくべき動向、派遣中の具体的な活動内容について解説していただきました。また、支援活動に

おける課題や被災者の意見や要望なども事例を交えて紹介していただき、チーム員として活動するうえで必要な基礎知識を学ぶことができました。

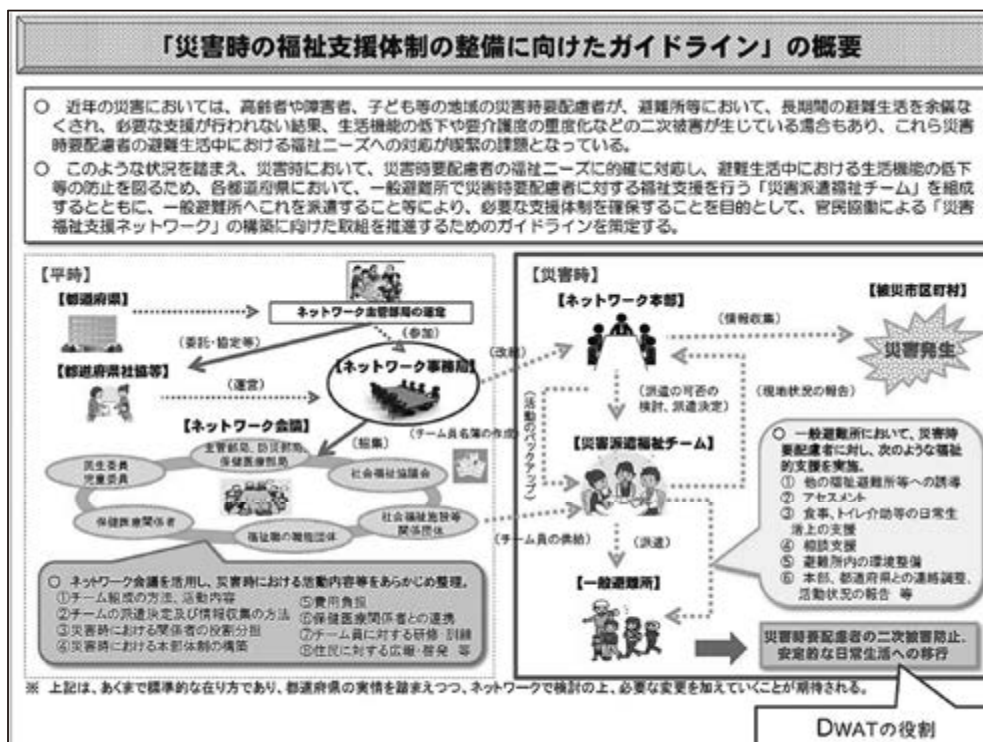
派遣時の活動内容に関して、理学療法士は、災害時における要配慮者（災害時要配慮者）の心身状態の把握、日常生活動作への支援、避難所や福祉避難所の環境調整において活躍が期待されているように感じました。平時より各医療機関や施設、在宅で実施している評価や介助などを応用し、他のチーム員と共有し展開していくことが、生活不活発病（廃用症候群）をはじめとする二次被害の防止につながり、生活再建に向けた被災者の自立支援につながります。

災害時要配慮者のスクリーニングおよび避難所から福祉避難所等への広域搬送、相談支援なども必要な活動であるため、今後開催が予定されているDWATスキルアップ研修にも積極的に参加していきたいと考えています。

また、12月17日（土）には第11回災害対策研修会（オンライン）を開催いたします。（セミナーID：103620）詳しくは日本理学療法士協会の「マイページ」をご確認ください。皆様のご参加をお待ちしております。

※DWAT

（Disaster Welfare Assistance Team：災害派遣福祉チーム）



活動報告



「第2回 会長と話をしよう」を振り返って

景翠会 金沢病院 リハビリテーション科 手塚 隆也



始め職場に招待状が届いた際は、自身に名指しで来る便りに全く心当たりがなく驚きました。本会は招待者が10名のみであることと、本来であれば直接関わることがなかったかもしれない先生方とお会いできる貴重な機会になると思い、参加させて頂きました。

実際にお話させて頂き感じたことは、理学療法士会をより良いものにするために、新人理学療法士である自分たちがどんな考えを持っているのか理解し、意見を取り入れようとされている様子でした。会長は雑誌やニュース誌等についても触れ、新しく載せる内容があればどんなものが良いか、どうすれば興味を持ってもらえるかと話し、私たちのアイデ

アを聞いてくださりました。

また、現在は研修会等のイベントもオンラインでの参加が主になっています。便利になっていく一方で、以前に比べセラピスト同士の関わりが少なくなっていることから、本会が交流の機会になればと、会の始めには他の先生方とお話しをする時間を設けて下さりました。緊張していたこともあって、話題も堅い内容になってしまいましたが、同年代の先生方と繋がりを持てる貴重な経験になりました。

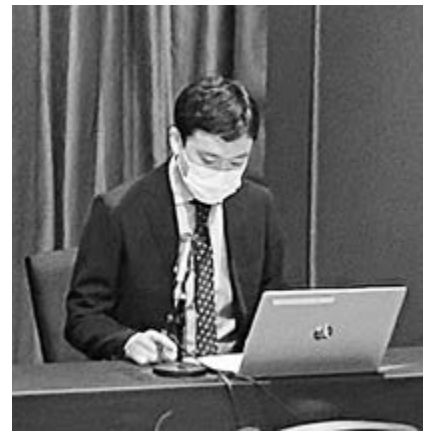
今回、会長や先生方とお会いでき、とても嬉しく思うと同時に、今後理学療法士として働いていく上での良い刺激を頂きました。この度は、貴重な会にご招待いただきありがとうございました。

第43回定時総会 開催報告

総務部 横山 哲也 (神奈川リハビリテーション病院)

去る6月19日(日)に、第43回定時総会が行われました。昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染対策として対面形式を避け、ZoomウェビナーとYoutube配信を使用してのWeb開催となりました。ウェビナーには21名、Youtubeでは75名の理学療法士が参加し、渡邊宏樹議長の下、各理事より令和3年度事業報告および令和4年度活動方針についての説明がありました。会員の方からの地域リハビリテーション活動支援事業の成果についての可視化、会員の認識・価値観醸成のための計画的な活動を求める意見が挙がり、内田会長や炭連盟会長から現在進

行中であること、ぜひホームページにて連盟活動をご覧いただきたい旨の回答がありました。事前質問に対してはホームページにて回答されておりますので、ご覧ください。また協会や神奈川県からの表彰、永年功労賞などの受賞者も紹介されました。長きに渡るご活躍とこの度の受賞、誠におめでとうございます。総会前の小川かつみ参議院議員、斉藤秀之協会長、半田一登連盟協会長のシンポジウムも大変興味深い内容でした。こちらはオンデマンド配信予定ですので、見逃した方はぜひ一度ご覧ください。



生涯学習制度



認定・専門理学療法士の皆さんへ～更新の準備は進んでいますか？～

生涯学習部 熊本 由美子

認定理学療法士、専門理学療法士更新の要件として、以下の3つをいずれも満たすことが求められています。

要件①：

下記のいずれかの活動を1つ行うこと（要件②の100点には使用できない）

- ・都道府県理学療法士会学術雑誌への投稿（筆頭著者に限る）
- ・ブロック主催学会での一般発表の筆頭演者
- ・都道府県理学療法士学会での一般発表の筆頭演者

要件②：

維持・研鑽のための活動における100点の取得（点数基準は以下表を参照）

要件③：

更新時研修（eラーニング：共通研修4コマ、分野別研修1コマの計5コマ）の受講

ここに注目！

☆新制度への移行措置として、以下のとおり2022年度以降の初回更新時のみ必要な点数が緩和されています！

■旧生涯学習制度における認定・専門理学療法士取得者の更新

[2017年～2018年4月1日付の取得者の初回更新について]

取得または更新年月日	本来の更新年度	新たな更新年度	更新期限
2017年4月1日	2021年度	2022・23年度	新たな更新年度のいずれかで更新
2018年4月1日	2022年度	2023・24年度	いずれかの年度で更新

取得または更新年月日	緩和点数	更新に必要な点数
2017年4月1日	80点取得済とみなす	20点
2018年4月1日	60点取得済とみなす	40点

- ・要件①は免除とします。（22年4月1日付取得者まで）
- ・要件②の2022年4月以降の必要点数は、上記の一覧に応じて取得してください。（2017年度取得者であれば、20点）
- ・要件③の更新時研修の受講は必須です。
- ・登録理学療法士の更新手続きは、別途行ってください。（更新年度は、2026年度）

※詳細は日本理学療法士ホームページ「新生涯学習制度 認定・専門理学療法士更新マニュアル」をご覧ください

認定理学療法士の育成をあなたの施設で！

今年度よりスタートした生涯学習度での認定理学療法士の新規取得にあたっては、全国各地に設置された教育機関で臨床認定カリキュラムを受講し、受験資格の1要件を満たすことが必要となります。日本理学療法士協会は、臨床認定カリキュラムを実施する教育機関の公募を行なっています。

■詳細はこちら

https://www.japanpt.or.jp/pt/lifelonglearning/new/certified-specialized/nintei_curriculum/

本教育機関は、病院、大学、専門学校、株式会社等の応募が可能であり、多様な組織で開講されることを想定

しています。認定されますと、より水準の高い理学療法士を育成する施設として協会ホームページ等に公開し、協会より認定証が発行されます。また、講師は「認定理学療法士・専門理学療法士 更新に関わる履修点数基準」の対象になります。（登録理学療法士の更新ポイントの対象にはなりません。）

なお、教育機関の申請については協会のホームページで確認できます。

<問い合わせ先>

公益社団法人日本理学療法士協会 事務局 教育推進課
mail : shougai@japanpt.or.jp

生涯学習制度

■ 認定・専門理学療法士 更新に関わる点数基準

※登録理学療法士更新のためのポイントに設定されているカリキュラムコードは関係しない。

大項目	項目	
0. 必須要件	0-1)	都道府県士会の学術大会での一般発表（指定演題含む）の筆頭演者
	0-2)	ブロック主催の学術大会での一般発表（指定演題含む）の筆頭演者
	0-3)	都道府県士会学術雑誌への投稿（筆頭著者に限る）
1. 学会参加 ^{※注1}	1-1)	都道府県士会、ブロック、日本理学療法学会連合の会員団体が主催の学術大会
2. 講習会・研修会の受講 ^{※注2}	2-1)	日本理学療法学術研修大会
	2-2)	協会主催の研修会
	2-3)	都道府県士会、ブロック主催の研修会・学術研修大会、理学療法士講習会
	2-4)	協会のeラーニング
3. 論文・著作 ^{※注3}		協会で指定した英文雑誌A
		協会で指定した英文雑誌B
		協会で指定した和文雑誌
4. 学会での発表等	4-1)	都道府県士会、ブロック、日本理学療法学会連合の会員団体が主催の学術大会での一般発表（指定演題含む）の筆頭演者
	4-2)	都道府県士会、ブロック、日本理学療法学会連合の会員団体が主催の学術大会での一般発表（指定演題含む）のト・パネリスト
	4-3)	都道府県士会、ブロック、日本理学療法学会連合の会員団体が主催の学術大会での一般発表（指定演題含む）の発表者
	4-4)	都道府県士会、ブロック、日本理学療法学会連合の会員団体が主催の学術大会での一般発表（指定演題含む）の発表者
5. 講習会・研修会の講師等	5-1)	協会、都道府県士会、ブロック主催の研修会の講師・シンポジスト・パネリスト、認定理学療法士臨床認定カリキュラム教育機関の講師 ^{※注4}
	5-2)	協会、都道府県士会、ブロック主催の研修会・症例検討会での座長（司会）

今年度入会者の新生涯学習制度(前期研修)のe-ラーニング開始しました

新人教育部 藤田 峰子

お待たせいたしました。前期研修のe-ラーニングの受講が9月より開始されました！マイページから前期研修A～Cを申請して受講を進めてください。受講費は無料ですが、視聴には、申し込みが必要です。申し込み方法は、マイページ→「生涯学習管理」→「セミナー検索画面」を選択してください。前期研修A～Cの申し込みは一括で行うことができます（セミナー ID100182）。e-ラーニングの各コンテンツの講義時間は90分です。一度に受講することは難しいと思われるので、1つ1つ時間がある

ときに視聴してください。申し込みをしてから翌年度も継続して視聴が可能となっていますので、安心して2年間かけて修了してください。前期研修のA～Dの全テーマの受講順序は問いませんが、実地研修をD-2で履修する場合のみB-5を受講後に症例検討（後期研修のE領域）を聴講してください。

前期研修は、他の研修会受講での読み替えはできませんので、e-ラーニングにて受講をしてください。

有限会社 木村義肢工作研究所

みなさまのご要望に真摯に向き合い

生活を手助けするものづくりを提供して参ります

〒247-0006 横浜市長区笠岡三丁目 40 番 5 号
TEL045-892-5424 FAX045-894-2560 www.kimura-gishl.co.jp





2022年5月更新

	選択・必須	履修点数	備考	
	必須（いずれ か一つ）	-	0-3)雑誌への投稿は採択されることを条件とする。	
		-		
		-		
学術大会	選択	最小単位学習時間 30分=0.5点 例： 1日（9時～17時）の 場合： 8時間=8点	点数は学習時間を表します。	
	選択			
	選択			
会	選択			
	選択			
	3-1) 筆頭著者	選択	80	いずれの分野でも使用可
	3-2) 筆頭著者	選択	60	
	3-3) 筆頭著者	選択	40	
学術大会での一般発表（指定演題を含む）	選択	20		
学術大会での講演講師・シンポジス	選択	20		
学術大会での座長（司会・ファシリ	選択	10		
学術大会での演題査読	選択	5	4-4)担当演題まとめて1件とする。 学会終了日が点数取得日となる。	
ネリスト（学術研修大会含む）	選択	20	5-1)補助講師も含む	
会・ファシリテータ含む）	選択	10		

日本理学療法士協会ホームページより抜粋
<https://www.japanpt.or.jp/pt/lifelonglearning/asset/pdf/ninteisenmonkoushin20220614.pdf>

前期研修D-2・後期研修中の症例検討会について

前期研修と後期研修に関する症例検討会についてお伝えします。後期研修では、E-1（神経系）、E-2（運動器障害系）、E-3（内部障害系）の症例発表または、症例検討会の聴講により履修となります。前期研修では、D-2（実地研修）で履修された方は、症例検討会の聴講により履修となります。学会等での短時間の発表では認められず、30分以上の開催であることが求められています。D-2では、3症例の聴講（90分）、後期研修では、3領域（E-1～3）の発表（3時間）または、3領域の聴講（9時間）で履修となります。後期研修の場合は、発表と聴講では、履修時間に大きな違いがありますので、計画的な聴講や積極的な症例発表を行ってください。

今年度本会が主催の症例検討会「士会主催症例検討会（内部障害系）」は、11月6日（日）に開催されます。本会の検討会は、発表者の負担を軽減し、聴講者による症例検討が進めやすいようにした構成となっています。演者による発表10分、聴講者間によるグループディスカッション10分、質疑応答10分の合計30分です。

内部障害系の症例発表演題は、随時募集しています。発表をご希望の先生方は、メールにて下記の項目を記載していただき、10月21日（金）までに申し込みください。

申し込み先：syoreikentou@pt-kanagawa.or.jp
 （新人教育部）

件名：11月6日症例検討会演題申し込み
 本文：①会員番号、②氏名、③所属名、④発表予定
 タイトル、⑤当日までの連絡用のアドレス、
 ⑥当日連絡が可能な電話番号

E-3の聴講希望の申し込みは、10月1日から開始しています。

セミナー ID：103092

開催日：2022年10月2日（日）10時～11時40分

場 所：Web研修会

（ZoomでのWeb会議システムを用います。お手持ちのパソコン等の端末で事前にZoomでの聴講準備をしていただき受講ください。）

定 員：40名

参加費：神奈川県理学療法士会員 無料

（3症例の症例検討会を全聴講可能であることが参加条件となります）

研修会・講習会

●県士会主催

2022年度（公社）神奈川県理学療法士会生涯学習部講習会のお知らせ

1回目の講習会は、Zoomシステムを用いたインターネットによる生配信となります。

2回目の講習会は、同じ内容を録画配信し、質問はメールにてお受けいたします。

御確認の上、日本理学療法士協会「マイページ」から登録をお願いします。

詳細（履修ポイント、申込受付期間 等）は日本理学療法士協会マイページ等を御確認ください。

【神奈川県理学療法士会生涯学習部主催「運動器疾患の理学療法」講習会】

テーマ：今さら聞けない、運動器理学療法の基礎から実践
内容：運動器疾患に対する理学療法では、局所の関節運動と全身の身体運動を相互に考え、痛みや動きの問題点を解決することが求められる。個別性はあるものの、運動機能障害を捉えるポイントを抑えると系統的に捉えることもできる。本セミナーでは、基礎的な運動学・運動力学的な知識から、実践的な身体所見(エコー所見を含む)の統合解釈について症例を通して解説する。

講師：河端将司先生(北里大学医療衛生学部)
宮田徹先生(相模原協同病院)
日時：1回目 2022年11月5日(土) 10:00~13:00
2回目 2023年1月20日(金) 12:00~1月23日(月) 12:00
質問受付×切 2023年1月30日(月)

【神奈川県理学療法士会生涯学習部主催「急性期の理学療法」講習会】

テーマ：超急性期理学療法におけるリスク管理と実践
内容：集中治療領域で理学療法士が対応する循環器疾患(心不全、心筋梗塞、心大血管疾患術後)、呼吸器疾患(急性呼吸不全、肺炎、ARDS)、敗血症等の代表的疾患における介入時のリスク管理および、理学療法の実践について解説を行う。また、重症新型コロナウイルス感染症に対する理学療法と長期身体機能予後についても自験例を提示し経験の共有を行いたい。

講師：佐伯拓也先生(公立大学法人横浜市立大学附属病院)
日時：1回目 2022年12月10日(土) 10:00~13:00
2回目 2023年1月27日(金) 12:00~1月30日(月) 12:00
質問受付×切 2023年2月6日(月)

【神奈川県理学療法士会生涯学習部主催「中枢神経疾患」講習会】

テーマ：脳卒中片麻痺者の起立動作のバイオメカニクス—麻痺の程度別に見た動作パターンおよび介入ポイント—
内容：脳卒中片麻痺者の起立動作のバイオメカニクスについて先行文献および三次元動作解析装置による計測結果から得られた運動学、運動力学、筋電図学的特徴について解説します。さらに麻痺の程度による起立動作の動作パターン分類を提案するとともに、RCT研究を中心とした文献レビューを含みながらパターン別の介入ポイントについて紹介する予定です。

講師：本島直之先生(昭和大学藤が丘リハビリテーション病院)
日時：1回目 2022年12月11日(日) 10:00~13:00
2回目 2023年2月10日(金) 12:00~2月13日(月) 12:00
質問受付×切 2023年2月20日(月)

【神奈川県理学療法士会生涯学習部主催「骨関節障害」講習会】

テーマ：変形性関節症における臨床と研究—臨床でのエビデンスの活用と構築—
内容：近年、理学療法ではエビデンスに基づいた臨床が求められるようになってきました。研究に関する知識は、このエビデンスの理解に役立ちます。本講演では、研究の基礎知識に触れながら、変形性関節症をモデルにした臨床でのエビデンスの「使い方」、そして「作り方」についてお話をしたいと思います。

講師：田中繁治先生(神奈川県立保健福祉大学)
日時：1回目 2022年12月18日(日) 10:00~13:00
2回目 2023年2月17日(金) 12:00~2月20日(月) 12:00
質問受付×切 2023年2月27日(月)

注 意 事 項

【受講費に関して】

- *受講費：本会会員3,000円、他都道府県士会会員6,000円
- *受講費は事前に振り込みをするか、カードでの引き落としとなります。振り込みの場合は手数料を御負担ください。
- *入金確認ができましたら、受講登録が完了します。
- *納入期限の時点で入金の確認が出来なかった場合はキャンセル扱いとさせていただきます。
- *納入後のキャンセルにつきましては、受講費の返還はされませんので御了承ください。
- *領収証が必要な方は、日本理学療法士協会のマイページよりダウンロードしてください。



【申し込みに関して】

- *キャリアメール(携帯電話のメール)は登録しないでください。
(連絡メールが届かないことや視聴できないことが多発しております。
携帯メールで登録した場合に生じたエラーについては対応できませんのでくれぐれも御注意ください。)
- *基本的に、日本理学療法士会のマイページに登録されたメールアドレスを使用させていただきます。
- *セキュリティの設定により、連絡メールが迷惑メールフォルダに振り分けられている場合がございます。
必ず御確認をお願いいたします。
- *登録アドレスの不備により連絡メールが届かない場合の責任は負いかねます。

【視聴登録・視聴に関して】

- *視聴の際には、必ず申込時と同一メールアドレスで登録してください。
- *本講習会はログイン時にパスワードを設定し、申込者のみ受講いただけます。
複数人での視聴は禁止いたします。
万が一、申込者以外の視聴が確認された場合、主催者側で当該者の退室、あるいは視聴制限を行う可能性もございます。
- *上記注意事項に違反している場合、視聴されてもポイント付与、受講費の返還はされませんので御注意ください。
- *各個人のシステムトラブル等には対応しかねます。
予め御自身が使用される機器のWeb環境を十分に御確認ください。(事前の動作確認を推奨いたします。)
- *受講中の各個人のシステムトラブルによる通信障害はいかなる場合も受講費の返還およびポイント付与の対象とはなりません。
- *受講中の録音、録画、撮影等は固く禁じます。
発見した場合、今後の受講禁止等の罰則を与えます。

【ポイント付与に関して】

- *ポイント付与等の一切は日本理学療法士協会の管理となっております。
日本理学療法士協会の案内を御参照くださいますようお願いいたします。
- *JPTA(日本理学療法士協会)のアプリを使用いたします。
講習会開始までに必ずダウンロードをお願いいたします。
- *講義の途中と終了時にQRコードを表示いたします。
QRコードの読み取りをもって受講を承認いたしますので、JPTAのアプリを御準備の上、受講いただきますようお願いいたします。
- *ログイン、ログアウトの時間で、聴講時間の管理をいたします。
講義の2/3以上の時間の出席が確認できない場合、ポイントは付与されません。
(録画配信で、早送り視聴される場合等くれぐれも御注意ください。視聴時間で管理いたします。)
- *休憩時間中も接続したままにさせていただきますようお願いいたします。
- *ポイント付与には一定の期間を要します。
- *注意事項に抵触する場合、ポイントは付与されません。

【個人情報保護に関して】

- *御提供いただきました個人情報は、講習会の御出席の確認、講習会に必要な連絡のためにのみ使用いたします。
個人情報は、主催関係者および業務委託先を除く第三者に開示・提供することはありません。
個人情報は、本会の個人情報保護方針に基づき、安全かつ適切に管理いたします。

申込をもって、本注意事項を御確認の上、御同意いただいたものとみなします。

お問合わせ先

(公社)神奈川県理学療法士会 生涯学習部

mail : shogaigakushu@pt-kanagawa.or.jp

お問合わせはメールでお願いします。

- *上記注意事項に記載済事項に関してはお答えできませんので御了承ください。





脳機能とリハビリテーション研究会 2022年 Web 研修会



脳画像の特徴と読影法を学び、臨床で活用しよう！

脳画像読影の実践（オンライングループワーク）

日時：2022年12月11日（日）受付9:30～

- ・ オンデマンド講義にてインプットした画像読影の知識を、経験豊富なファシリテーターと一緒にアウトプットする、少人数制のグループ学習です。
- ・ 対象：初心者レベル（脳画像読影が全くわからない）から中級者レベル（画像所見と臨床所見との結びつけがある程度は可能）

脳画像読影事前講習（オンデマンド講義）

配信：11月中旬～

1. 初めの一步：迫 力太郎
（昭和大学藤が丘リハビリテーション病院 理学療法士）
2. 基礎編：若旅 正弘
（茨城県立医療大学付属病院 理学療法士）
3. 応用編：本寺 哲一・高杉 潤
（昭和大学病院 診療放射線技師・東都大学 理学療法学科 教授）



定員：50名、会場：研修会専用HP（接続にはGoogleアカウントが必要）

参加費：6,000円（脳リハ研 会員限定、非会員は要入会手続）

参加申込：右のQRコードよりフォームにアクセスしてお申し込みください！



株式会社エヌ・エフ・エーは
保険を通じて暮らしやビジネスを
サポートします



株式会社 エヌ・エフ・エー

保険のトータルプランナー

〒110-0015

東京都台東区東上野1丁目6-2 荒井ビル2階

TEL.03-5818-0711 (代表) FAX.03-5818-0710

<https://www.nfa-ins.co.jp>

事務局報告



月	日	内容	場所
6月	2日 (木)	第3回常任理事会	Web会議
	5日 (日)	PT協会第51回定時総会	Web会議
	7日 (火)	理事ヒアリング①藤本理事	Web会議
	9日 (木)	神奈川県議会自民党ヒアリング	県庁
	10日 (金)	PT協会副会長・事務長と協会組織改善対策会議	県立大学
	13日 (月)	神奈川県理学療法士連盟	Web会議
	14日 (火)	神奈川県理学療法士連盟	Web会議
	15日 (水)	神奈川県医療専門職連合会2022年度通常総会	横浜市社会福祉センター
	17日 (金)	理事ヒアリング②浅田理事	Web会議
	18日 (土)	新潟県理学療法士会50周年記念式典	ANAクラウンプラザホテル新潟
	19日 (日)	神奈川県理学療法士会第43回定時総会	TKPガーデンシティ横浜西口
		新組織運営検討委員会	TKPガーデンシティ横浜西口
23日 (木)	第2回理事会	Web会議	
7月	3日 (日)	PT協会第3回理事会傍聴	Web会議
	6日 (水)	理事ヒアリング③相馬理事	Web会議
	7日 (木)	第4回常任理事会	Web会議
	9日 (土)	第2回事業運営会議	Web会議
	12日 (火)	理事ヒアリング④栗原理事	Web会議
	14日 (木)	マイナビ進学ライブ	パシフィコ横浜
		横浜市健康福祉局地域包括ケア推進課会議	横浜市庁舎
	20日 (水)	令和4年度第1回表彰委員会	Web会議
	22日 (金)	顧問弁護士とコロナ禍における研修会開催方法に関する会議	Web会議
	24日 (日)	PT協会組織強化に向けた合同情報交換会(第1回Spiceフォーラム)	Web会議
	27日 (水)	神奈川県医療専門職連合会理事会	Web会議
28日 (木)	理事報告会	Web会議	
29日 (金)	神奈川災害福祉広域支援ネットワーク(神奈川DWAT)研修会	Web会議	
8月	1日 (月)	組織運営検討会議	事務所
	4日 (木)	第5回常任理事会	Web会議
	22日 (月)	事務所職員の採用に関する検討会議(株式会社ビズリーチ)	Web会議
	25日 (木)	第3回理事会	Web会議

会長 行動報告

6月~8月

小田原地域の住民生活を支えるARSグループ

通所介護・放課後等デイサービス

Well

小田原市久野469

通所介護

ふらっと

小田原市堀之内258-1

通所介護・小規模多機能

ふらっと湯河原

足柄下郡湯河原町土井1-13-3

訪問看護

ARS訪問看護ステーション

小田原市堀之内258-1

旧寄中学校利活用

なないろポケット

足柄上郡松田町寄2549

職員募集中！お気軽にお問い合わせください



本社
〒250-0853 神奈川県小田原市堀之内258-1-102
TEL: 0465-39-3730 (月~金 / 8:30~17:30)

女性活躍推進優良企業
ゴールドステージ認定

MAIL: ars.head-2531@bz03.plala.or.jp <https://ashigara-reha.jp/>



「なりたい自分になる」をサポートします

ARS

有限会社足柄リハビリテーションサービス

information



日本理学療法士協会会員証の運用について

会員の皆様方のお手元には「日本理学療法士協会 会員証」が届いていると思います。



今後、神奈川県理学療法士会や日本理学療法士協会の主催事業の参加受付の際に必ず必要になります。携帯する様をお願いします。

紛失・破損等による再発行は、**有料（500円税別）**となりますので、ご注意ください。

*再発行の申請については、日本理学療法士協会のホームページをご覧ください。

神奈川県理学療法士会や日本理学療法士協会の主催事業の

申込をする際には、日本理学療法士協会ホームページの「マイページ」からの申込になります。

「マイページ」にログインするには、ID・パスワードが必ず必要となります。

*「ID・パスワード再発行」は「マイページ」（「ログインできない方は「こちら」をクリック）から再発行申請手続きを行ってください。

【注意事項】

- ・再発行申請には個人のメールアドレスが必須となります。
- ・再発行申請後に仮受付メールが送信されます。仮受付メールに記載されているURLリンクを開いて、申請を完了してください。
- ・メール受信拒否設定されている方は『@ml.japanpt.or.jp』の受信を許可してください。

(公社) 神奈川県理学療法士会
事務局

年会費（納入方法）

年会費の納入方法は「クレジットカード決済」または「口座振替」となります。

- *ご入会時にいずれかの登録手続きをしていただけます。
- *日本理学療法士協会マイページから随時変更可能です。
- *いずれかの方法で決済ができない場合は、振込用紙を送付させていただきます。（納入手数料がかかります）

☆クレジットカード決済方法の変更

2022年4月19日より、楽天カード以外のクレジットカードもご利用できるようになりました。

ご利用可能なブランドは次のとおりです。

「VISA」「mastercard」「JCB」「AMERICAN EXPRESS」「Diners Club」

*決済手数料はかかりません。

*楽天カード、クレディセゾン、三井住友カード、ライフカード、イオン、セディナ、三菱UFJニコスカードについては、毎月自動で最新のカード情報に更新しますので、有効期限更新等による変更手続きは不要となります。

*楽天カードは日本理学療法士協会マイページからも新規申込が出来ます。

*口座振替ご希望の方はお持ちの金融機関口座から引落出来ます。ご登録いただいてから引落決済が利用できるまでに1か月程度かかる場合があります。

(公社) 神奈川県理学療法士会
事務局

アクセス認証のパスワード



本会ホームページの会員ページの（※アクセス）認証ありと表示のあるサイトの閲覧時にはユーザー名とパスワードが必要です

パスワードは1年毎に変更になります

ご不明点は、トップページの「お問い合わせ」からお寄せ下さい

担当：ウェブサイト管理部

活動報告



本会の政治活動について

会員の皆さまにおかれましては、平素より本会の運営にご協力を賜り、感謝申し上げます。また、先日の参議院選挙においては、我々の組織代表へのご支援を賜りまして、誠にありがとうございました。

さて、本日は本会の政治活動に対する会長としての考えを、会員の皆さまにお伝えしたいと思います。本会の会員の皆さまの中に、特定の政党を応援している本会の活動について、多少なりとも不快感を持たれている方がいるかもしれないことは、重々承知しておりますが、理学療法士は、皆保険制度の下で国民の保健・医療・福祉の充実に向けた医療専門職であるため、法律上の各種制度の影響を大きく受けます。そのため、理学療法士が政治力を確保することは極めて重要なことです。また、任意の加入団体である本会が、会員の皆さまに利益となるよう一定の政治的信条を持って活動することについて、法的に何ら問題はありませぬ。こうしたことから、立法院で保険制度に対峙できる理学療法士の仲間を、本会はこれからも全面的に応援していきます。

先日の選挙においては、本会の理事も積極的に活動してくれました。そして、多くの会員の皆さまから、温かい応援のメッセージをいただきました。嬉しいことです。本会は、30代以下の若い会員が多い組織です。彼らのこれからの人生をサポートし、理学療法士という仕事に夢を持ってもらうことも、本会の大きな仕事ではないでしょうか。そのため、本会のすべての会員が政治的に不利益を被ることがないように、今後も引き続き万全の対応をしまいたいと考えております。

こうした対応を進める中で、これから県学会や各種研修会などの場に、我々の組織代表が参加し、挨拶をしてもらうことがあるかもしれません。これは、本会会員の皆さまに理学療法士を取り巻く現状を理解してもらうことに加え、我々の生活をより良くしていくためにも非常に重要な意味があると考えます。本会は、今後も組織代表を全面的に応援し、理学療法士に政治力が必要であることについて皆さまへのご理解を求めながら、本会の活動を推し進めてまいります。

会員の皆さまにおかれましても、今後とも本会の活動にご理解ご協力を賜りますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

令和4年9月

公益社団法人神奈川県理学療法士会
会長 内田賢一



義肢・装具 整形靴・特殊靴

MAKERS OF PERFORMANCE PROSTHESIS & ORTHOSIS

SP-I 湘南義肢研究所

気分の上がる最適な
装具をお届けいたします。



Facebook 始めました。最新情報載せてます！



日本義肢協会会員登録番号関東108(有)湘南義肢研究所 〒238-0004 神奈川県横須賀市小川町 27

TEL046-822-6722 FAX046-822-6425 <https://www.sp-i.net>

活動報告

公益事業推進部活動報告

理学療法フェスティバル「キックオフイベント」を開催いたしました。

公益事業推進部 笹川 さゆり

令和2年度より新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、本会においても公益事業の開催はここ数年中止となっておりましたが、ようやく行動制限が緩和された本年度、開催を再開いたしましたのでご報告致します。

第一弾として、令和4年6月25日の日曜、「理学療法フェスティバル2022 キックオフイベント」が横浜駅東口、そごう前広場で3年ぶりに開催されました。この度は感染予防のために、接触を避け、パネル展示、動画放映等、パンフレット・リーフレットの設置等が中心で、手渡しや誘導はせず、参加者が自由に閲覧していただける環境を設定し実施しました。新型コロナウイルスの感染拡大の影響のなかった3年前までは、通りがかった方々にパンフレットを配布することやお子様に神奈川県理学療法士会のロゴが入った風船をプレゼントしたりと、大変にぎやかなイベントだったと、以前の運営経験のあるセラピストから伺っておりました。今回はそのような積極的な取り組みが出来なかったことは残念でしたが、コロナ禍、開催出来たことは一歩前進出来たことと感じております。

当日は真夏並みの暑さ、多くの買い物客、行楽客が途切れることなくそごうの前を行きかっしておりました。そのような中、足を止めてパネルをみて下さる方、興味を持ちこちらを振り向いて下さる方もおられました。また中には「ブースの中を見て回っても良いですか。」と積極的にお声をかけて下さる方もおられました。見て回って下さった方に感謝の意を伝えると、ほとんどの方がご自身やご家族が「理学療法士にお世話になった、こちらこそありがとうございました」と、理学療法士との関わり方の経験談をお話しして下さいました。生前、お母さまが理学療法士にお世話になったと仰った方は、目頭を熱くされながら感慨深くお話しして下さいました。このお話を伺い、理学療法士は当事者だけでなく当事者のご家族にも影響を与える存在であることを改めて痛感致しました。また、別のご家族はお子様が理学療法士に興味を持っているのでどのようにしたら理学療法士になれるか詳しく知りたいと、熱心に耳を傾けて下さる方もおられました。

ご来場の皆様に任意でアンケートにご記載をいただきました。アンケートの設問の1つとして、『地域において理学療法士がどのような場面で活躍しているのを知っているか』選択肢を挙げて伺いました。結果は、地域の体操教室講師、スポーツトレーナー、フィットネスインストラクターなどの回答があり、医療機関以外で活躍する理学療法士の存在も周知され始めていることを知ることができました。今後、理学療法士に期待されること、ご意見・ご感想では、「高齢者のフレイル予防、家でも続けられる取組を発信して欲しい」、「健康寿命を延ばすためのアドバイスを期待する」などのご意見をいただき、予防について期待が高まっていることも伺えました。

日本理学療法士協会の発表によると、医療機関で従事している理学療法士は全会員数の約8割を占めると言われています。毎年、理学療法士が10,000人ずつ誕生している現在、また2024年のトリプル改定で、保険内で従事する理学療法士に影響を与える診療・介護報酬に関してマイナス改定や不利益な結果がもたらされれば、必然的に保険外へ職域拡大が求められます。そのような中、既に保険外で活躍している理学療法士がいることを知る一般県民が存在することは、



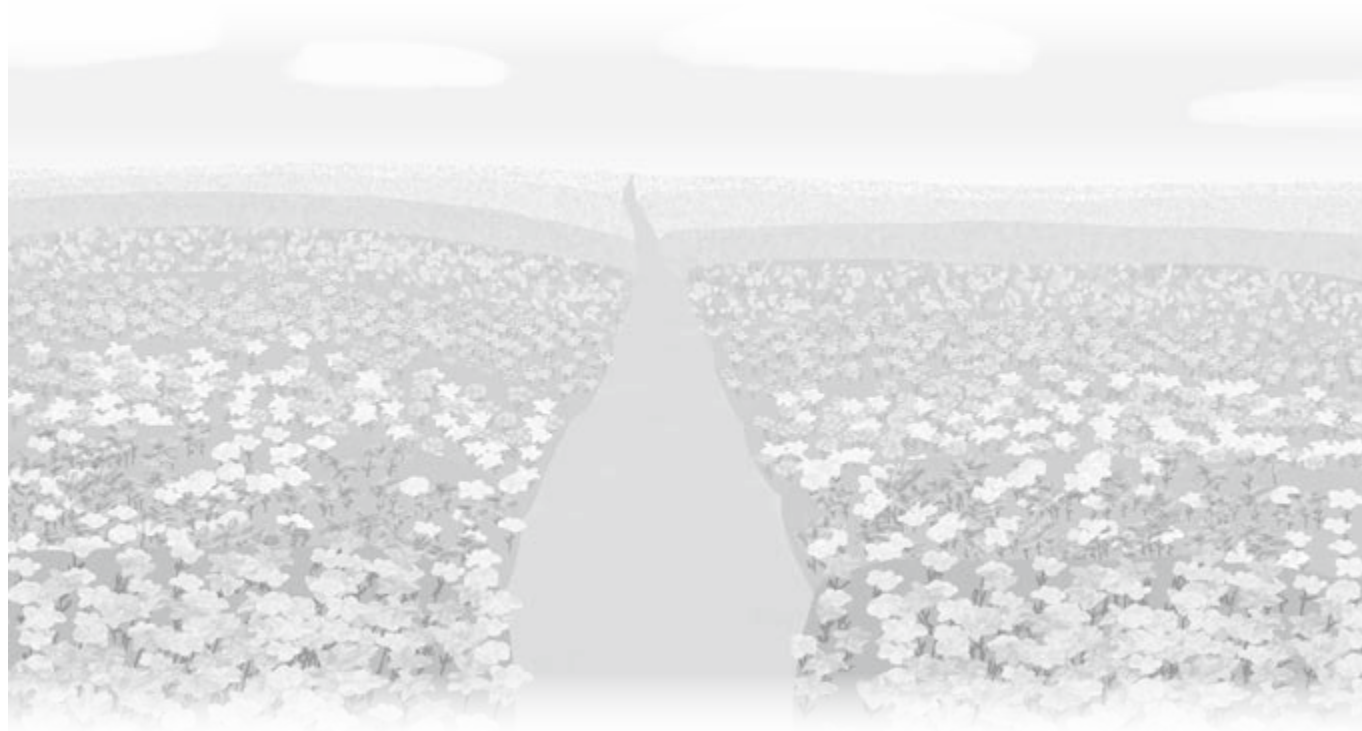
理学療法士の未来に一筋の明るい光が灯っているようにも感じました。

今回は感染拡大防止の観点から制限付きのイベント開催でしたが、少しでも多くの一般県民の皆様に理学療法士の存在をアピール出来たことは貴重な機会だったと考えます。

現在も第7波が収束せず、対面におけるイベントの開催は難しい状況ではありますが、引き続き、県民の皆様に向けて、理学療法士がどのような形で県民の皆様のお役に立てるか、理学療法士の存在意義を公益事業推進部として伝え続けていくことに尽力してまいります。

公益事業推進部部員

フリーランス 笹川さゆり



PT・OT・STのための
総合オンラインセミナー

リハメ

法人様向け
プランのご用意も
しております

資料請求
好評受付中

1ヶ月見放題プラン

通常料金 3,080円が初回限定で…

980円

※表記価格は税込み料金です。

豪華講師陣がご登壇!



理学療法士/さとう整形外科
赤羽根 良和 先生



理学療法士/国際医療福祉大学大学院
医療福祉学研究科
福祉支援工学分野 教授
石井 慎一郎 先生

リハビリテーションを
『かたち』にする会社

gene
ジーン

お問い合わせ
はこちら

✉ seminar@gene-llc.jp
Tel.052-325-6611 [リハノメ](#) [検索](#)



・ニュース編集係員・

担当理事：宮澤俊介（M's PT Conditioning）
係長：武田正一（横浜リハビリテーション専門学校）
委員：上垣亮太（横浜リハビリテーション専門学校）
岩佐彩子（湘南鎌倉総合病院）

次号の原稿締め切りは**2022年12月1日**です。
岩崎学園 横浜リハビリテーション専門学校 理学療法学科（ニュース編集係宛）
news-hensyubu@pt-kanagawa.or.jp
〈原稿は添付ファイルでお願いいたします〉

※原稿受取確認を希望する場合は開封確認機能をご利用ください。
円滑な編集作業へのご理解とご協力よろしくをお願いいたします。

編集後記

皆様、横浜リハビリテーション専門学校の上垣です。初めての編集後記の執筆で緊張していますがよろしくお願いたします。ここで少し私の昔話をさせてください。私は高校に入学してからラグビーを始めました。それまではずっと水泳部だったこともあり、チームスポーツに憧れ、高校から始めても出来るチームスポーツは何かを考え、ラグビーを選択しました。しかし、陸上での運動、ましてや慣れない楯円球を扱うコンタクトスポーツであったため、骨折や捻挫等の怪我を繰り返していました。特に印象に残っているのが高校3年生の引退試合2か月前にタックルの練習中に右脛骨を骨折してしまい、1か月は松葉杖で右足は完全免荷で地面に着いてはいけないと医師に告げられた時、「ああ自分は引退試合には間に合わないかもしれないな、自分のラグビーへ打ち込んできた高校生活3年間はなんだったのか」と絶望したことです。ですがそんな時に理学療法士に出会いました。不安と絶望を抱える中、話を親身に聞いてくれて、出来るリハビリを指導してくださり、何とか試合に間に合わせようとしてくれた姿に救われた気持ちになったのを今でも昨日のここのように思い出します。巻頭言の大歳先生のお話の中に、選手を早期復帰させるために我々に必要なものはなんであろうか。それはDrやPTという『資格』ではなく、『知識・技術・経験』である。とのお言葉がありました。あの時の理学療法士の方も『選手ファースト』で自身の知識や経験を私に伝えてくれたんだと、今更ながら痛感いたしました。話は変わりますが、つい先日全国専門学校バスケットボール大会の神奈川ブロック理事として名古屋で開催された全国大会に参加してきました。そこで見た学生達の生き生きとした表情、勝利の喜びと、敗北の悔しさ。間近で見ているこちらも学生達の熱にあてられ、やはりスポーツは素晴らしいなと実感いたしました。また、全国大会の準備は大変でしたが学生達の輝く姿を見て疲れも吹き飛び、頑張ってきて良かったと思いました。私は臨床の現場からは少し離れてしまいましたが、『学生ファースト』で学生達が輝けるよう、今後の仕事も邁進していきたいと思っております。私の昔話にお付き合いしていただきありがとうございました。会員の皆様、今後ともよろしくお願いたします。

(上垣亮太)

 神奈川県理学療法士会

神奈川県理学療法士会の
公式アカウントができました。

研修会やイベントなどの情報を
LINEでお届けします！

@720prcny

LINEの「友だち追加」から、ID検索するか
QRコードをスキャンしてください

